
記事

[Megumi Kakechi](#) · 2021年3月10日 3m read

RESTでセッション共有化する方法

これは [InterSystems FAQ サイト](#) の記事です。

REST アプリケーションはステートレスであることが想定されています。

しかし、複数の REST 呼び出し間でデータを保持したい場合などの理由で、Webセッションを使用したい場合は、UseSession パラメータを使用することができます。

以下のように、Web アプリケーションのディスパッチクラスとして定義された %CSP.REST のサブクラスで UseSession パラメータを指定することで、CSP と同じように Web セッションを使用することが可能となります。

```
Class REST.MyServices Extends %CSP.REST
{
    Parameter UseSession As Integer = 1;
```

詳細は以下のドキュメントをご覧ください。

[REST での Web セッションの使用](#)

以下は、UseSession パラメータを使用した簡単なサンプルになります。最初に、2つのクラスを作成してください。

* [REST.SessionTest.cls](#)

```
Class REST.SessionTest Extends %CSP.REST
{
    Parameter UseSession As Integer = 1;

    XData UrlMap
    {
        <Routes>
            <Route Url="/test/" Method="GET" Call="test"/>
        </Routes>
    }

    ClassMethod test() As %Status
    {
        write "{"SessionId":"","_session.SessionId_""}"
        quit $$$OK
    }
```

```
}  
}
```

* [REST.test.cls](#)

```
Class REST.test Extends %CSP.Page  
{  
ClassMethod OnPage() As %Status  
{  
    &html<  
        <html>  
            <head>  
                <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=utf-8" />  
<script type="text/javascript" src="http://code.jquery.com/jquery-2.2.4.js"></script>  
<script type="text/javascript">  
function go() {  
    $.ajax({  
        type: 'GET',  
        dataType: 'json',  
        url: '/csp/user/rest/test/',  
        success: function(data) {  
            ans = '';  
            for(var i in data) {  
                ans = ans + '\n' + JSON.stringify(data[i]);  
            }  
            alert(ans);  
        }  
    });  
    return;  
}  
</script>  
  
    </head>  
    <body>  
        <form name="xxx" method="post" action="">  
            <input type="button" name="test" onclick="go();" value="push" /></p>  
        </form>  
        Session ID: #(%session.SessionId)#<br>  
    </body>  
</html>
```

サンプルの使用方法は以下になります。

1. 上記2つのクラスをUSERネームスペースに作成し、コンパイルする
2. ウェブアプリケーション /csp/user/rest を作成、
ディスパッチクラスに REST.SessionTest を設定、
セッションCookieパスを /csp/user に変更して保存

システム > セキュリティ管理 > ウェブ・アプリケーション > ウェブ・アプリケーションの編集・(セキュリティの設定)

ウェブ・アプリケーションの編集

保存

キャンセル

ウェブ・アプリケーション /csp/user/rest の定義を編集:

アプリケーションを保存しました。

一般

アプリケーション・ロール

マッチング・ロール

名前 /csp/user/rest

必須です。(例./csp/appname)

説明

ネームスペース

USER

USER のデフォルト・アプリケーション: /csp/user

☐ ネームスペースのデフォルト・アプリケーションアプリケーション有効 ☒

有効

☒ REST

ディスパッチ・クラス REST.SessionTest

必須です。

☐ CSP/ZEN☐ アナリティクス ☒ 着信 Web サービス ☐ ログイン CSRF 攻撃を防ぐ

セキュリティの設定

必要なリソース

ID でグループ化

許可された認証方法 ☒ 認証なし ☐ パスワード ☐ Kerberos ☐ LDAP ☐ ログイン Cookie

セッションの設定

セッションタイムアウト

900

秒

イベントクラス

.cls

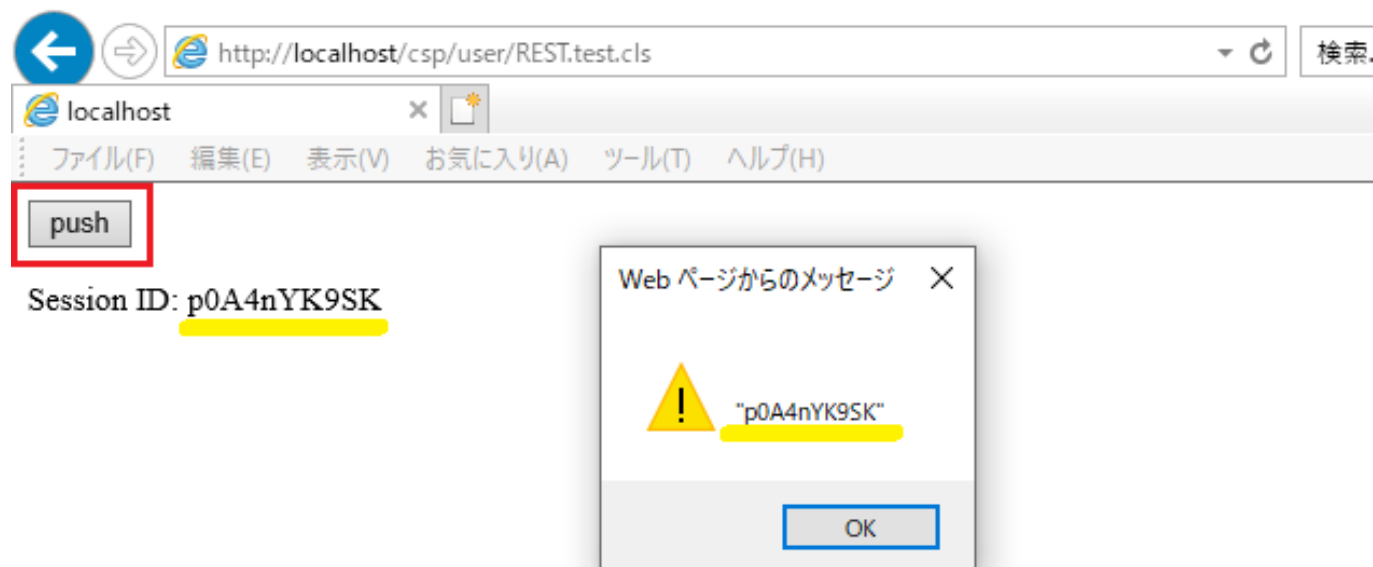
セッションにクッキーを使用する

常時

セッションクッキーパス

/csp/user/

3. ブラウザで /csp/user/REST.test.cls を開いて、push ボタンを押す



ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/rest%E3%81%A7%E3%82%BB%E3%83%83%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3%E5%85%B1%E6%9C%89%E5%8C%96%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9%E6%B3%95>